第10回新市将来構想策定小委員会次第

日時: 平成15年8月26日(火) 午後6時30分から8時30分まで 場所: 長岡市役所大会議室

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) 新市統合ビジョンについて
 - (2) 地域別整備・活動方針について
 - (3) 地域別活動展開について
 - (4) 新市全体で取り組む活動展開について
- 3 その他
 - (1) 次回小委員会の日程について
- 4 閉会



新市統合ビジョン検討資料

2003年8月26日 長岡地域任意合併協議会事務局

1.検討のための与件

新市統合ビジョン(表現)に求められる事柄は、次のように整理されます。

統合ビジョンは、4 つの「新市地域らしさ価値」の共通的な意味を総括し、新ながおかの姿勢を表現する地域スローガンである。

(1) 言葉の意味・適合性

統合ビジョンでは、「人=ヒト」を「財=タカラ」として栄続的に繁栄する都市 を表現する。

地域の人々の可能性や才能といった人間性を尊重し、それらの 人々の活動によって、**長久の繁栄を獲得する都市**であること

(2) 言葉の響き・面白さ

この地域スローガンは、地域内の人々はもとより、地域外の人々にとって「おや?」や「おもしろそうなことをやっていそうだ」といった<mark>興味をも</mark>たれる表現である必要性が優先される。

(3) スローガンの簡潔性

上記のように、この訴求事項は情報発信の意味が強いことから、より少ない文字数で、**端的に表現されたスローガン**である必要性がある。

2.新市統合ビジョン案

前回の小委員会で絞られた意見

人財悠久都市・新ながおか

人財悠久繁栄都市・新ながおか

人は財、悠久の都市・新ながおか

人財いきいき都市・新ながおか

「新市地域らしさ価値」を高めるための地域別整備・活動方針(修正案)

2003年8月26日

長岡地域任意合併協議会事務局

新都市将来構想を考える流れ

小委員会意見

先行事例

から

ഗ

整理】

・)の抽出

建設計画策定

地域別整備・活動方針新市地域らしさ価値を高める

環境分析

展開事業·行動

具体的施策の展開

地域の誇り 地域の強み

小委員会意見

"人財"都市を市民、地域外のひ とに 訴求できる施策 国に先じて行えるような施策 産学協働・・・筑波を例として (企業家育成、研究開発、教育利用) 長岡造形大学でのチャレンジ(例) ・・・市民工房

高齢者事業、高齢者企業者 (シニアアントレプレナー)例 ` 環境 " のありかたが重要 地産地消

地域らしさ価値を構成する地域の

思

(実現すべ

き事柄

現状の強み)

再確認

ھ

先進事例からの 地域ブランドの ケーススタディ

地域らしさ価値を高める共通の視点(キ 見極める アイデンティティ の確立

発信する イメージアップ

<共通の視点>

育てる ブランド育成

ノランド構築!ひさ価値を高: のめ の重点実現項目】のるための重点課 二点課題

【地域ブラン学

【実現に向けての戦略分野や行政分野に展開する活動項重点実現項目を達成していくための具体施策

<ワークショップ作業>

【独創企業が生まれ育つ都市 ~誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか~】

三島町

確かな伝統の技で信頼・支持されるモノづくり発信地

実現すべき事柄

ものづくりへの誠実さ、確かさ、粘り 強さを維持・発信する地域となる

越路町

豊かな自然環境がつくる21世 紀のクリーンエネルギーに育ま れるまちの創造

実現すべき事柄

- ・自然環境に育まれる地場産業の振 興・支援
- ・天然ガスを活用したクリーンエネル ギー産業の創出・育成

小国町

伝統技術の継承と独自技術を活かしたこだわりの里づくり

実現すべき事柄

小国和紙等の伝統技術や独自技術の継承および発信により、に残るものを生み出す技術へのこだわりに誇りを持ち、高付加価値化を実現する

中之島町

抜群の広域アクセス性・立地環境 を活用した独創企業支援地域

実現すべき事柄

抜群の流通機能と豊かな生活環境から 生れる豊富な労働力を活かし、生育す る新産業等の独創企業を支える地域づ くりを行う

長岡市

世界のモデルとなる独創企業生育拠点への挑戦

実現すべき事柄

ものづくりの確かな技術と人、モノ、 情報の集積を強化し、世界に広がる夢 を現実に変える都市(空間、機能、仕組 み)の創造

山古志村

自然美、人間美から生まれる究極 ブランドを守り、育て、独創企業 に提供していく地域

実現すべき事柄

新ながおかのものづくりに対する"独創性"を歴史・伝統で裏付け、自然環境を活用し、支援する地域となる

見附市

高度技術・高感性をもつ人材による多様な産業の花が咲くまちの 創造

実現すべき事柄

ファッション産業による豊富な技術と 他分野産業、研究機関を活かした産学 官連携による新ピジネス開発拠点地域 となる

栃尾市

繊維産業を核とし、素材からこだわる多分野の栃尾ブランドづくり

実現すべき事柄

繊維工業技術の幅広い活用と、きれいな水と空気を活かした新世代産業の創出地となる

【元気に満ちた米産地 ~まごころ米の生まれる里・新ながおか~】

三島町

「人と自然」の元気を生かした環 境循環型農業の拡大地域

実現すべき事柄

高付加価値な農産物づくりを実践し、 新ながおかの先進的な取り組みを広 げ、産業化していく地域となる

越路町

最先端技術と確かな技が生み出す元気のあふれる米生産・技術導入拠点の創造

実現すべき事柄

- ・安心、安全、おいしい米生産の追求 に向けた新しい栽培技術導入への挑戦 ・安心な米生産と環境一体化の模索
- 小国町

安全で味にこだわる食の里づくり

実現すべき事柄

おいしくて特徴のある食の生産・発信 地としての発展

中之島町

若く元気な住民パワーによる安全・安心・美しの食産基地

実現すべき事柄

地域づくりに積極的に取り組む住民力 (かあちゃんパワー)による、安全・安 心・新鮮な農産物の供給地域

長岡市

日本の食文化の誇りを育て、伝統を 活かした「新ながおかブランド」の 食の拠点として全国へ展開

実現すべき事柄

たゆまぬ研究と歴史に支えられた、生産から消費、市場拡大まで、日本を元気にする、あらゆる食の先進モデル地域としての展開を強化

山古志村

自然にいだかれた技と人の汗が 創り出す、安心安全食の体験地域 (来て、見て、食べて)

実現すべき事柄

伝統の食づくりを守り続け、人々に感 動を与える地域イメージ発信地となる

見附市

健康に満ち溢れた農産地の創造

実現すべき事柄

「食」「生産」「人材」「消費者の食の安全性」の視点を生かした健康農業地域 づくり

栃尾市

自然に培われた確かな素材による、『新ながおか名物』を生み発信する

実現すべき事柄

自然を生かした新たな「食」をつくり 広げる地域となる

【世代がつながる安住都市 ~未来人を育む資源博物館・新ながおか~】

三島町

自然空間を生かし、地域コミュニティを育む生涯ゆとり実感都市

実現すべき事柄

自然と人、人と人とが融合し、地域力 を生かしたコミュニティ育成モデル地 域となる

越路町

豊かな自然環境に育まれた 個性尊重による人づくり地域の 形成と発信

実現すべき事柄

心豊かな子供を育て、すべての人々が支えあう地域の創造と発信

小国町

元気で支えあう気持ちを育み全 ての人にやさしい里づくり

実現すべき事柄

日常的な支えあいや世代間交流を通じ て、生活の中で自らが考え行動する未 来人を育む

中之島町

家族・地域が一体となって、子育てを応援する安心のまち

実現すべき事柄

家族・地域の人とのつながりを大切に しながら更なる安らぎ住まいと子ども を育む地域づくりを推進

長岡市

「市民の想いがまちをつくる」 市民とまちが一体化する安住都 市への歩み

実現すべき事柄

歴史と伝統に育まれた「市民力」を活かした、あらゆる世代の想いや願いが叶 う、新しい都市・生活環境の創造

山古志村

未来人を育む地域全体 フィールドミュージアムの創出

実現すべき事柄

生活から生まれた圧倒的な自然と燃え 上がる体験を通して、未来人の感性を 育む地域

見附市

健康長寿日本一への挑戦と世代間交流先進地域の創造

実現すべき事柄

- ・元気なお年寄りが若者と共にいきいきと暮らせる地域の創造
- ・お年<mark>寄</mark>りの経験が伝承できるまちの 創造

栃尾市

まつりや雁木のこころと文武両 道の精神を継ぎ、元気でやさしい 人を育む地域

実現すべき事柄

まつりや交流を通した地域コミュニティを守りつづけ、伝統・文化・人情を 大切に思う未来人を育てる

【世界をつなぐ和らぎ交流都市 ~「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか~】

三島町

アイデアと人の和でつくる 新ながおかの独創イベント発信

実現すべき事柄

住民力を生かした交流人材育成地域となる

越路町

自然と歴史の広域交流をつなぐ 地域の形成

実現すべき事柄

他地域の観光資源との連携化を図り、 広域交流の一翼を担う地域づくり

小国町

へんなかツーリズムによるもて なしの里づくり

実現すべき事柄

地域でもてなす体験型交流の創造と展 開の実現

中之島町

新ながおかをつなぐ 広域交流発信地域の形成

実現すべき事柄

交通利便性を活用し、他地域の観光資源との連携化を図り、広域交流の一翼を担う地域づくり

長岡市

地域と世界を和らぎで結び、人々の心に残る世界都市への挑戦

実現すべき事柄

世界をもてなす和らぎのこころを育み、新たな交流の価値を発信する拠点 となる

山古志村

何度でも来たくなる "こころ"和らぐ資源特別区

実現すべき事柄

都会の生活では触れることのできない 原風景や文化、伝統を伝える地域とな

見附市

「新ながおか・北の玄関口」として産業と伝統の環で結ぶ交流拠 点の創造

実現すべき事柄

- ・他地域の資源と連携した広域観光ネットワーク
- ・これまでの交流実績を活用した和ら ぎ交流の実践地域

栃尾市

「来て・観て・食べて」楽しい テーマ型観光の拠点を育てる

実現すべき事柄

固有の資源と住民ネットワークを活用 した新ながおかの観光・交流拠点とな る

新市地域らしさ価値を高めていくための 地域別活動展開 (案)について

2003年8月26日

長岡地域任意合併協議会事務局

長岡地域において

独創企業が生まれ育つ都市

を高める方向性・視点

- ・人・モノ・情報が集積するように都 市の空間、機能、仕組みを進化させ ていく
- ・発想をものづくりに転換する技術、 起業・創業を生み出すための市場形 成など、独創企業の生育機能を強化

WILL 長岡地域整備・活動方針

育拠点への挑戦

市(空間、機能、仕組み)の創造

世界のモデルとなる独創企業生

・ものづくりの確かな技術と人、モノ、情報の集

積を強化し、世界に広がる夢を現実に変える都

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

ものづくりの優位性

機械・金属・電気・鉄鋼・精密機器など高度な技術を有する多様な分野 の企業がバランス良く集積。研究支援機関や技術・デザインに関する特 色ある大学、専門的な教育機関などが多数立地。交通の要衝・拠点。情 報通信基盤

- ・ものづくりに関する技術がワンセットで提供できる集積地
- ・世界的な技術を有する企業も多く、国内外への情報発信力を持つ
- ・実践力のある専門人材の育成が可能(大学発ベンチャーなど)
- ・産学官の連携体制が充実
- ・首都圏等へのアクセスも含め中心部ならではのビジネス環境を提供できる

産業・生活スタイルの多様性

流通・販売・サービスなど多分野産業の集積。都市的生活スタイル。自 然や伝統とふれあえる

- ・独創的な発想の源となる異文化・異業種の交流・集積地である
- ・人口集積を背景に、ものづくり以外にも新たな起業を創造するための市場が 形成されている

実現していくための活動

見極める

ものづくりや起業者を支える産学官の連携を含む新 たな地域社会ネットワークづくりやビジネス環境の

- ・先行的な事業ニーズ、シーズの把握に向けての情報 収集・情報交換活動の実践
- ・地域内-外、技と技、技と販売等の多様な交流機会を コーディネイトする仕組みづくり
- 知的インフラ整備等のビジネス環境づくり
- ・創造的なインキュベーション及び革新的企業経営が 促進される弾力的な地域環境づくり

発信する

地元企業(製造業等)の技術力を国内外へ PR する見 本市等の多角的情報発信を強化

ドイツのマイスター制度*1を発展させた職人・技術 者集団による夢のあるものづくりの実現と発信 21 世紀 COE*2 長岡技科大プロジェクトと連携する などゼロエミッション(廃棄物ゼロ) 新エネルギ -活用等自然と共生する環境循環型企業の支援と

育てる

オンリーワン・ニッチトップ*3 企業を促進する経 営、技術、法務等、産業支援機能を強化・高度化 産学協働で取り組む異業種交流の次世代に向けた 促進プログラムの開発

世界的視野に立った理数系、技術系に照準を合わせ た実践的教育の取り組み

職人や技術者、企業家等、産業界の人材が学校教育 から生涯教育まで様々な教育活動に参加する仕組 みづくり

*2 21 世紀 COF

*1 マイスター制度 :職人の技能・理論を実践と教育で培う制度 : 世界最高水準の大学づくりに向けた、研

究教育拠点の形成を支援する事業

(文部科学省)

*3 オンリーワン企業 : 他に真似のできない独自の優れた技術を 持つ企業

ニッチトップ企業:製造業を中心とした特定の製品分野にお

いて、全国で高いシェアを獲得している

企業

WANT (なりたい姿)

長岡地域において

元気に満ちた米産地 まごころ米の生まれる里・新ながおか[、]

を高める方向性・視点

- ・地域の食の最前線として安全性・品 質・量に関わる生産体制に裏付けら れた食への誇りを持つ農産加工品の
- ・地域農産物を活用した食の安定供給 による市場開拓と消費の拡大
- ・全国への情報発信など、食に関する あらゆる分野の展開を可能とする地 区として、地域の食全般を支える

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

生産と加工技術の発信

- 農業総合研究所・農業技術学院、内水面水産試験場
- ・全国レベルの研究所と指導者養成機関が立地
- 郷土料理、和菓子、酒・醤油等 ・伝統的な食の技術が継承
- ながおか米
- ・コシヒカリ発祥の地としての誇り、信頼された農産物の安定した供給量 市場開拓力、販売力
- 多様な飲食施設と活気ある市場の集積
- ・飲食街やロードサイド型レストラン、さらにコンベンションの充実に
- より、食の施設とサービスが多様
- 豊富な消費人口と多様な食の生活スタイル ・豊富な消費者により、新たな食のビジネスを生み出す多様なニーズが潜在
- 長岡野菜 ・伝統野菜の全国ブランド化への取り組み

県内外の来訪者の拠点

- 地域の玄関口として地域外からの来訪者の滞在の中心地
- ・来訪者が地域の食を楽しむ機会を数多く提供

WILL 長岡地域整備・活動方針

実現していくための活動

見極める

研究に裏付けされた技術力の普及と生産履歴の明 確化による消費者への信頼性の向上

長岡発信の超高圧処理技術等の先端工業技術の活用 などによる新しい安全安心の食品加工・開発の強化 長岡米や長岡野菜を使った長岡でしか味わえない 新しい名物郷土料理・特産品の開発と販売力の強化

日本の食文化の誇りを育て、伝統 を活かした「新ながおかブランド」 の食の拠点として全国へ展開

・たゆまぬ研究と歴史に支えられた、生産から消 費、市場拡大まで、日本を元気にする、あらゆ る食の先進モデル地域としての展開を強化

発信する

健康食品産業や外食チェーン等とタイアップした ブランド品の普及、促進

美しい農村地域と一体となった酒や農産物のブラ ンド開発と発信

育てる

中山間地域をはじめ、地域の環境、活力を守り支え るための「農業地域再生」を目指す取り組みの実現 研究機関・大学と連携したバイオテクノロジー等新技 術の活用による高付加価値の農産加工業の育成 環境配慮・地域循環型の生産・消費・生活の推進 農業体験等により農業の役割を理解し、環境の保全 を促す心を育成 将来の農業を担う人材育成と人材確保

長岡地域において

WILL

市への歩み

生活環境の創造

世代がつながる安住都市

を高める方向性・視点

- ・市民力によるまちづくりを促進・確立す ることで、市民自らまちをつくりあげる 力があることを地域内外へ示す。
- ・市民自ら安住都市づくりを推進する力を
- 都市の斬新な空間・機能の構築により、 時代の変化に対応した新たな発想・活力

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

市民力

米百俵の精神、互尊文庫、悠久山、多様な NPO やボランティア活動・市民の自立と進取の精神が、まちづくりで実践されている

基本的な都市機能の充実

医療福祉、教育施設。商業機能、子育て機能、男女共同参画 ・基本的な都市機能の充実により、快適な日常生活と多様な分野の活動 が行える基盤がある

長岡地域整備・活動方針

「市民の想いが、まちをつくる」

市民とまちが一体化する安住都

・歴史と伝統に育まれた「市民力」を活かした、あ

らゆる世代の想いや願いが叶う、新しい都市・

見極める

市民の声や想いを集める仕組みや地域社会等の情報収 集・情報交換の仕組みを確立

実現していくための活動

市民の提案や社会ニーズを施策へ反映、展開が可能な 什組みづくりを推進

都市の魅力向上・交流機会拡大による若者の活力が 集まるまちづくりの実践

発信する

医療・福祉・教育など多様な分野ですべての世代が活 発に交流できるコミュニティの形成 NPO・ボランティアを活用した福祉の拡充による「寝

たきリゼロ」への挑戦 子どもたちの豊かな才能や発想を社会に反映させ る仕組みづくり

子育て・教育環境日本一のまちづくり

育てる

自然体験や人との交流を通して豊かな心と強い精神を 持つ子どもが育つ環境づくりを推進 スクールカウンセラー等の充実などによる心の安定や 感性の豊かな子供の能力を育む環境づくりを推進 子供たちの才能を早期に発見し、地域一体となって伸 ばす地域独自のカリキュラムづくりを充実 専門的な職業経験を生かせるボランティア・NPO 活動 やコミュニティビジネスの場の創出

WANT (なりたい姿)

長岡地域において

世界をつなぐ和らぎ交流都市

を高める方向性・視点

- ・国内外と地域をつなぐ交流の駅であ り、各地域の交流目的を支援する機能 だけでなく、もてなしによる心の交流 を実践し、地域イメージの向上に寄与
- ・交流の結果として、国際協力・国際 貢献へと進展し、世界が共感する活 動を発信する地となる

地域と世界を和らぎで結び、人々

の心の中に残りつづける世界都

・世界をもてなす和らぎのこころを育み、新たな

交流の価値を発信する拠点となる

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

- 交通の要衝・拠点 上越新幹線、関越・北陸自動車道、国道 8 号長岡パイパス、国道 17 号 長岡東バイパス
- ・高速交通体系の拠点として、県内外への窓口となっている

国際交流 姉妹都市

米、フォートワース市

・幅広い国際交流の歴史と実績がある

友好都市

独、バンベルグ市、トリアー市

・世界から長岡に学ぶ留学生は約280名で、小中への派遣等も実施

交流資源と受け入れ機能

多様な観光資源。四季折々のまつり。コンベンション。機能宿泊機能 ・観光、ビジネスの両面で、年間を通じた来訪目的が存在し、それを受 け入れる機能も存在している

WILL 長岡地域整備・活動方針,

市への挑戦

見極める

実現していくための活動

新ながおかの交流拠点としての先進的都市機能の 充実や「和らぎ交流」を支えるもてなしの基盤や体 制の充実

国際規模の見本市の開催等が可能なコンベンショ ン機能が充実したまちづくり

既存の観光分野にとらわれない、ビジネス面等で の新たな交流メニューの開発、もてなし交流機会 づくり(長岡人の営み(産業・生活)を交流資源とす る取り組み)(田植え、稲刈り、食・・・) 地域の資源や歴史を再発見する「地元学」による

新たな交流価値の発見

発信する

国際交流・国際貢献を通じて世界平和に役立つ交 流の推進とメッセージの発信

米百俵、花火、・・・様々な歴史、文化資源にみる "長岡の心"の魅力を世界に発進

育てる

長岡の資源を活かした新たな観光ブランドの創出 再び訪れたくなるまちとしての魅力を高めるため 地域一体となった「もてなし」向上のためのプロ グラムの開発と実施

若者を惹きつける魅力的な都市文化の再構築

見附地域において

独創企業が生まれ育つ都市 誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか

を高める方向性・視点

- ・長岡技術科学大学や長岡造形大学等 と既存高度技術集積を生かした産学 官連携による先端技術開発
- ・異業種交流による新産業の創出

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

歴史ある総合繊維産業の地として、材料加工からデザイン・最終製品化までの全工 程を、地域内で処理

- ・糸加工から織編・デザイン・染色・縫製までの製造工程が、地域内でパッケージ 化されていることで、独自商品の新規開発が、設備・人材の両面で可能 -流ブランドの製品づくり
- ・確かなデザイン力・技術力を有している

若手企業人の連携の動き

- 石寸正来入の返済の3回が 地場産業振興アクションプランが進行中 ・一社ープランド化試み等の企業の連携・新規開発の動き
- 県工業技術総合研究所 ・地場産業の振興プラン実施
- ・県工業技術総合研究所素材応用技術支援センター立地による連携

県営産業団地

- ・IC至近で、好立地条件
- 県中央部に位置 先端産業の進出
- 県の産業振興拠点
- ・企業連携による技術の利用・応用の可能性

地域外からの多様な企業進出

WILL 見附地域整備・活動方針

高度技術・高感性をもつ人材による

・ファッション産業による豊富な技術と他分野産

業、研究機関を活かした産学官連携による新ビ

多様な産業の花が咲くまちの創造

見極める

県営産業団地を核とした異業種交流・産学官連携の

実現していくための活動

しくみづくりと拠点機能の創出 環境型新ビジネス、新技術開発への取り組み

の推進による、新ながおかブランドの発信

発信する

多様な産業の誘致・育成に向けた産業立地優位性の アピール・発信 地域内のファッション産業の核となる拠点づくり

育てる

多分野のエンジニア交流ネットワーク環境づくり 貸工場など、多様な支援活動による新ビジネスの育 成活動

WANT (なりたい姿)

見附地域において

世代がつながる安住都市 未来人を育む資源博物館・新ながおか

を高める方向性・視点

- ・予防医療による元気なお年寄り社会
- ・子育てや教育にとっての「おじいちゃ ん」「おばあちゃん」の役割の重要性

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

いきいき健康づくり推進

- 筑波大学の指導に基づく個別プログラムによる科学トレーニングの実施
- ・高齢者の体力年齢が10歳若返る実績あり、指導員体制などのノウハウが確立していて、寝たきりの防止や病気の予防に効果を発揮している
- 「マクロビオティック食事療法」の考え方の導入等食生活改善の地域づくり
- ・地域で取れる野菜を使うなどの自然食を基本とした健康食事療法で、 地産地消とも連動している

医療・福祉の里

- 市立成人病センター病院、特別養護老人ホーム、老人保健施設、保健福祉セ ンター等の立地 (14000坪)
- ・全ての施設が市街地内にあり、利便性が良いだけでなく、施設が集積化し ており、世代間交流が可能な配置となっている
- わくわく見附アクションプラン
- ・子供たちの自主性を尊重するプログラムの実施

世代間交流公園(花・花ランド)の活動

・世代間交流を行いながら緑化・美化を進める「快適空間づくり事業」実施

WILL 見附地域整備・活動方針

実現していくための活動

健康長寿日本一への挑戦と 世代間交流先進地域の創造

- ・元気なお年寄りが若者と共にいきいきと暮らせ る地域の創造
- ・お年寄りの経験が伝承できるまちの創造

見極める

科学的トレーニング・食事法を活用したすべての世 代をつなぐ健康づくりによる、まちの活力向上への

発信する

医療・福祉・教育施設の融合による、新たな交流モ デルの創出・発信

育てる

子ども達の活動へ高齢者資源(高齢者の持っている 豊かな技術・経験・知恵など)を活用することによ る、元気なまちづくりの推進 地域住民による歴史・自然・伝統文化を活かした地

域社会教育の推進・強化

WANT (なりたい姿)

見附地域において

元気に満ちた米産地 まごころ米の生まれる里・新ながおか

<u>を高</u>める方向性・視点

・食を通じた農業の魅力づくり

ジネス開発拠点地域となる

- ・担い手不足の解消を目指した農業の 活性化
- ・地産地消の実現

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

安心安全な農産物の生産と環境整備

- 有機堆肥(民間企業)の土づくりによる有機米・有機野菜の生産の推進
- ・地域内での高品質かつ安定的な農産物の供給が可能である。 ・都市部に消費人口を抱え、生産消費循環を地域内で進めることが可能 である

恵まれた水利

- 少ない降雪によって通年でのハウス栽培が可能 (通年就農可能)
- 大規模圃場推進による農業経営合理化
- 「食」による健康づくり地域
- マクロビオティック食事療法の導入等による食生活の改善と地域健康 づくり
- ・健康づくりの観点から食生活の改善を通じて、有機食材の消費拡大・ 地産地消の推進ができ、消費側からの農業活性化の推進が可能である

実現していくための活動

WANT (なりたい姿)

見附地域において

世界をつなぐ和らぎ交流都市 人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか

を高める方向性・視点

- ・ホームステイ事業のノウハウを活用 した民泊の推進
- ・産業面や文化面等の多分野を通じた 幅広い交流活動展開の可能性
- ・特に国際交流(受け入れ)のチャン ネルの活用が期待できる

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

県の重心地 ・県内偏りなく、集まることができる地域 中**之島・見附**IC

・交通の利便性が高い

国際交流(早稲田・オレゴンプログラム)

早稲田大学による留学生のホームステイ事業。"地方都市体験"部門を 見附で実施。年間15~20人程度の受け入れ実績

- ・完全ボランティアで実施されており、後の市民交流も盛ん。まとまっ た人数の受け入れ体制のとれる都市が少ない。ノウハウが確立している ニットまつり
- 春秋年2回開催の産業まつり。ブランドラベルの付かない製品を超低価 格で提供。10年以上の実績
- ・毎回県内外からお客を集めている。人気が高く、常設希望が多い
- 350年以上の伝統と歴史のある行事
- ・日本中の凧仲間が集うまつり。越後六角会などヨーロッパに出ての活 動、早稲田大学の参加など交流のチャンネルが広い

WILL 見附地域整備・活動方針

「新ながおか・北の玄関口」として 産業と伝統の環で結ぶ交流拠点の創造

- ・他地域の資源と連携した広域観光ネットワーク
- ・これまでの交流実績を活用した和らぎ交流の実践地 域

実現していくための活動

見極める

ホームスティのノウハウを活用した、市民レベルで の国際交流促進

発信する

ファッション産業を軸にした、新ながおかの産業観光 *の拠点としての機能強化・発信

*産業観光:これまでの観光資源とは異なり、 様々な産業を観光面での切り口として開発

育てる

新ながおかを訪れる人々が魅力を感じる特産品(産 業観光の視点を重視)を提供していく体制と拠点づ

WILL 見附地域整備・活動方針

健康に満ち溢れた農産地の創造

・「食」「生産」「人材」「消費者の食の安全性」の 視点を生かした健康農業地域づくり

見極める

流通経路の開拓による、有機食材の安定供給・定量 消費の促進

発信する

「健康」という付加価値をつけた食生活(食材~食 事)の創造・発信

育てる

安心・安全な食を目指し新たな生産技術導入による 農業の活性化

「新市地域らしさ価値」を高めていくための栃尾地域の方針と活動

WANT (なりたい姿)

栃尾地域において

独創企業が生まれ育つ都市 誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか

を高める方向性・視点

・繊維産業アクションプラン(製造~ 販売力強化)の具現化と、県工業技 術総合研究所素材応用技術支援セン ター、(財)にいがた産業創造機構、 長岡造形大学等との連携による、新 素材、新技術の開発及びデザイン力 向上等を推進することで、確かな伝 統技術に支えられた新産業を創出し

WILL 栃尾地域整備・活動方針

繊維産業を核とし、 素材からこだわる多分野の 栃尾ブランドづくり

・繊維工業技術の幅広い活用と、きれいな水と 空気を活かした新世代産業の創出地となる

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

繊維産業と孰練技術

・産地として培われてきた染め織りの技術があるとともに、ガラス繊維 による耐火服・飛行機の構造材・マルチメディア用素材など、新技術・ 新素材への展開がされている

きれいな水と空気

• きれいな水と澄んだ空気、自然豊かで静かな環境を求める研究機関の 進出が見られる

繊維技術習得の場

・栃尾高校での繊維関連カリキュラムが継続されており、地域内での人 材育成の基礎がある

実現していくための活動

見極める

繊維産業の製造から販売力強化への取り組みによる産 研究機関と連動した、新素材・新技術の開発とデザイ ン力の向上

発信する

広域的なアンテナショップの展開 開発・研究に適した立地環境の PR 促進活動

育てる

地域内の高校での繊維関連カリキュラムの継続によ る、技術者の育成

WANT (なりたい姿)

栃尾地域において

世代がつながる安住都市 未来人を育む資源博物館・新ながおか

を高める方向性・視点

・まち並みや自然・伝統・地域コミュ ニティを守り続けることで、人に優 しい世代間交流が続く安らぎ空間を

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

雁木のまち並みと雄大な自然

・ふるさとを強烈に印象づける、人に優しい雁木のまち並みと、自然(守 門岳~源流)がある

教育と町内コミュニティ

- ・子供自身の興味・動機を大切にした、総合学習への取り組みと、地域 コミュニティ支援の継続
- ・武道、スポーツ、芸術文化を、大人たちが子供に伝える地域性を有する。
- ・まちづくりへの市民参加が根強い

住民の強いつながり

・区長制度により培われてきた、地域住民の一体感

WILL 栃尾地域整備・活動方針

実現していくための活動

まつりや雁木のこころと 文武両道の精神を継ぎ、 元気でやさしい人を育む地域

・まつりや交流を通した地域コミュニティを守り つづけ、伝統・文化・人情を大切に思う未来人 を育てる

見極める

古くから地域に伝わる神楽舞など伝統芸能の継承、武 道・スポーツ指導を通した世代間交流の推進

発信する

城山・秋葉公園・雁木通りを楽しんで歩ける地域ぐる みの「謙信の里」づくりとPR

育てる

地域の人々が寄り集まる「よったかり」の場づくりと、 地域住民の一体感醸成

WANT (なりたい姿)

栃尾地域において

元気に満ちた米産地 **まごころ米の生まれる里・新ながおか**

を高める方向性・視点

・地域産原料の利用による、既存特産 品の更なる品質向上と、自然イメー ジの素材活用による新たな食づくり

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

物語のある特産品

あぶらげ、もち(梅三郎、ほか) ・全国的に知名度の高い『あぶらげ』

究極の味としてメディアに取り上げられた『もち』など、地域の食文 化を発信する素材がある

源流が育む産物 名水、とちお米、酒

・自然資源である『源流』のイメージ

を活用した、存在感のある水・酒・米がある

農業の新たな試み

有機肥料づくり

・おからを使った有機肥料づくりを展開。イメージがよく、ガーデニン グ等からのニーズが高い

WANT (なりたい姿)

栃尾地域において

世界をつなぐ和らぎ交流都市 人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか

を高める方向性・視点

・地域のPR強化、市民ネットワーク の広がりにより、観光産業の発展を

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

道の駅、鎌崎の里、道院高原、杜々の森、守門岳、まつり・イベント ・自然・歴史・文化に特化した、観光資源、固有のまつりが集積してお り、幅広い層にアピールできる伝統的観光地としての発展が可能 住民ネットワーク

フォーラム 2 1、観光ポランティアガイド

・まちづくり・イベント等を市民レベルで具現化するネットワークを有 しており、市民の手によるあたたかな交流ができる

道の駅、栃掘ふるさと交流会館

・100 人規模の子供たちの滞在の場、街道まつり等の広域へ、小拠点があ り、更なる交流機会の拡大が可能

・炭工房・竹細工・特産品づくり等、観光産業に新たな魅力を付加する 起業が成長しつつある

実現していくための活動

WILL 栃尾地域整備・活動方針

「来て・観て・食べて」楽しい テーマ型観光の拠点を育てる

・固有の資源と住民ネットワークを活用した新な がおかの観光・交流拠点となる

見極める

自然・文化(歴史・食など)資源を結ぶ、わかりやすい 観光ルート(ストーリー)づくりと、案内機能の強化 観光拠点を活用した体験型メニュー(イベント等)の開発

発信する

地域で受け継がれる伝統芸能(神楽舞・広大寺踊り)の 集中公演の開催による地域魅力の発信

育てる

観光ボランティアガイドの養成 既存ルートを活用した、地域外(他県等)交流の促進

WILL 栃尾地域整備・活動方針

自然に培われた確かな素材による、 『新ながおか名物』を生み発信する

・自然を生かした新たな「食」をつくり広げる地域と なる

見極める

新ながおか産大豆を用いた、地場産あぶらげづくり 源流の里のきれいな水からつくる、食味の良い「とち お米」づくり

実現していくための活動

発信する

地域内拠点活用による「とちお野菜」の販売ネットワ ーク強化 アンテナショップ展開による"とちお食材"の PR 強化

育てる

あぶらげ料理コンテスト等の促進による、新たな食文 化の育成 専門研究機関と連携した、既存特産品(あぶらげ、酒、 米)のさらなる品質追求

「新市地域らしさ価値」を高めていくための中之島地域の方針と活動

WANT (なりたい姿)

中之島地域において

独創企業が生まれ育つ都市 誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか

を高める方向性・視点

・高速交通体系に立地した流通機能を 最大限に生かしながら、流通拠点と して独創企業の生育を支援する

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

交通に恵まれた立地環境

- 高速道IC+国道8号などの地域縦貫道路が立地。積雪量が少ない(50cm) ・県のほぼ中央に位置し、流通や通勤についても広範囲となり、交通拠 点性が高い
- ・ICでは、新潟西・長岡に次いで利用車両が多い
- 立地環境を生かした工業団地(流通団地 ·大型ロジスティックセンター、配送センターによる集約化による企業 メリットが大きい
- 若いまちの豊富な労働力
- 平均年齢41.7歳。同居世帯が多い。(4.16人)
- ・14 歳未満の年少人口が16.5%と県下で4番目に多く、将来の労働力を担 う世代が多い
- ・3世代世帯が多く、子育て環境も良くパートタイム雇用ニーズに対応可能 マナビィ プラザ
- 3万冊蔵書。見る、聴く、学ぶ機能を兼ね備えている
- ・交通至便な立地に加え、広域圏で見ても場所がわかりやすく、県内各 地からの研修会場としての利用がある

WILL 中之島地域整備・活動方針

抜群の広域アクセス性・立地環境

・抜群の流通機能と豊かな生活環境から生れる豊

富な労働力を活かし、生育する新産業等の独創

を活用した独創企業支援地域

企業を支える地域づくりを行う

実現していくための活動

見極める

優れた広域交通アクセスルートによる、空港・港を視野 に入れた地域流通革命への挑戦 企業の活発な技術交流や連携促進の支援体制づくり

発信する

流通拠点としての環境づくりと、立地優位性の強

育てる

生涯学習拠点の活用による、想像力のある企業人育 成を支援する取り組み活動

WANT (なりたい姿)

中之島地域において

元気に満ちた米産地 まごころ米の生まれる里・新ながおか

を高める方向性・視点

- ・広大な圃場で様々な良質な農産物生 産基地を発信・PR
- ・人材力が生産の源であることを強く 訴求

資源の強み・内容

CAN (活用したい地域資源)

- 100ha の作付面積。豊富な地下水を利用。酒・パン・パイ。とれたて市 ・有機肥料でまっ白な切り口、サクッとした歯ごたえ、多くの加工品として利用さ れている
- 婦人グルーによる農産物直販所で数多くのとれたて野菜の販売
- ジャンボおにぎり
 - 米文化の象徴、元気の源としての誇り
 - •89 年ギネス公認の 600kg のジャンボおにぎり、良質な米産地のシンボル
 - 大区画圃場の農業生産
 - 肥沃で平坦な沖積地に立地する圃場。1ha 区画圃場整備と生産組織化を推進・地域営農の推進と厳しい生産履歴活動のもと、減農薬減化学肥料による米づくり への取りくみと小松菜・なす等野菜栽培も盛ん
 - 交通機能を生かした出荷施設
 - ・高品質維持施設(青果物集出荷予冷センター)により計画収穫と、迅速な市場出荷

 - 告活動が盛ん
 - 家族の結びつきや強い地域の結束力がある

・昭和23年超過供出米日本一の栄光。他人を思いやる心 中之島版米百俵の精神

実現していくための活動

物の供給地域

WILL 中之島地域整備・活動方針

若く元気な住民パワーによる

安全・安心・美しの食産基地

・地域づくりに積極的に取り組む住民力(かあち

ゃんパワー)による、安全・安心・新鮮な農産

見極める

地域営農システムの強化と複合経営の推進による

生産履歴活動・減農薬減化学肥料栽培の拡充による 高付加価値米の生産促進

発信する

大口レンコンなど安全・新鮮な素材と料理法をセッ トした PR による、地産地消活動の推進 ハスの花など固有の田園風景を活用した「観せる食 産基地づくり」と発信

育てる

生産から販売まで、魅力ある農業を担う多才な人材 の育成活動

WANT (なりたい姿)

中之島地域において

世代がつながる安住都市 未来人を育む資源博物館・新ながおか

を高める方向性・視点

- ・世帯員数が多く、高齢者単身世帯が 少ないことのアピール
- ・多くのボランティアなど、地域コミ ュニティの中で家族の基本形をつく りつづけ、家族~地域のつながりを 強くしていく

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

同居世帯の多いまち

- 世帯員数 4.16 人。高齢者単身世帯率が県下最下位
- ・高齢者同居世帯が多く、家を中心に世代間交流があり、いたわりと尊 敬心を醸成している
- 保育所と高齢者交流

子育て支援

- ・保育所と高齢者施設が併設されて
- おり、世代間交流により思いやりの心が常日頃より養われている
- 高齢者支援(生きがい健康づくり運動)
- ・多くのボランティアによる子育てから 高齢者に対する地域一体型の福祉活動を推進

- 花の道づくりボランティア活動。つくろう塾
- ・「つくろう塾」など業種や地域を越えての花の道など環境保全・美化活 動に取り組んでおり、強い連帯力による地域コミュニティー形成が可能

アイガモ農法

・つくる喜びや愛護心の醸成などに多くの農家のボランティアによって行なわれ ており、地域愛が強い

実現していくための活動

WILL 中之島地域整備・活動方針

家族・地域が一体となって、 子育てを応援する安心のまち

・家族・地域の人とのつながりを大切にしながら 更なる安らぎ住まいと子どもを育む地域づく りを推進

見極める

多様な住民組織とネットワークを活用した、参画と 協働のまちづくりと生活支援の仕組みづくり 総合子育て支援センター、育児ボランティアを活用 した地域ぐるみの子育て支援の仕組みづくり

発信する

家族・地域のつながりのモデル地域としての活動と 誇りの発信

育てる

全ての世代交流、生活支援の仕組みを支える地域ボ ランティアの継続的な育成活動

WANT (なりたい姿)

中之島地域において

世界をつなぐ和らぎ交流都市

を高める方向性・視点

・地域内連携による交流促進

CAN (活用したい地域資源)

偉大な先人達と史跡

資源の強み・内容

- 大竹貫一。義民与茂七 ・農民の悲願の治水事業により見事な美田を作り上げるなど多くの偉業を残した人の歴 史(生家跡・記念館)がある
- 凧合戦などの伝統文化
- 350年余の歴史。神楽舞
- ・受継いだ歴史・文化を守りながら、途絶えた稚児舞を復活させるなど強い連帯感に より後世へつなげる伝統文化の保存を進めている
- 食の交流
- 大口れんこん。ジャンボおにぎり
- スロイルルとん。 フィンパのにこり、 ・米に代表される農産物、数多くのれんこん料理によるもてなしと、加工品による食を通じ ての新たな交流発信が可能となる
- ・高速交通体系とアクセスのよさ
- 地区の春・秋まつり
- ・地域で培ってきた祭りは独特のものがあり、中でも灯篭押合いやお神輿巡行などは地 域住民で守りつづけている

・商売繁盛の神様として県内外からの参拝者が多く、かたもちはご利益にあずかろうと大

WILL 中之島地域整備・活動方針

新ながおかをつなぐ 広域交流発信地域の形成

・交通利便性を活用し、他地域の観光資源との連 携化を図り、広域交流の一翼を担う地域づくり

見極める

多彩な農産物による「食」やミニ農園から生まれる 「農交流」など、「食と農」を基本とした交流の創造

発信する

食と伝統芸能のイベントの企画と発信

実現していくための活動

「食」による「おもてなし」交流を促進する、住民パワ

育てる

-の育成と体制づくり。

越路地域において

独創企業が生まれ育つ都市 誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか

を高める方向性・視点



- ・環境と共生する産業の様々なあり方 の模索
- ・エネルギー産業の立地の可能性。

豊かな自然環境がつくる

に育まれるまちの創造

・天然ガス自動車の普及などの社会変化

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

国内一流製造業の立地

- 「米菓」 1947年創業。国内2番目の米菓出荷量
- ・人気商品の米菓を全国販売。できたての味を追求し、高品質・鮮度第主義に よる独自出荷方式採用
- 「酒造」 天保元年 (1830年)からの創業で関東信越国税局管内の出荷量 ・全国ブランドの日本酒を製造。おいしい恵みの水と土づくりから始まる高品 質の酒米 (原料) づくり、環境保護活動への積極的参加、酒づくり 「スポーツ用品製造」テニス、バドミントン、ゴルフ、スノーボードなど多岐
- にわたる ・世界的に有名なスポーツ用品メーカー。常に新製品開発で世界をリード ガス田
- 天然ガスの供給をパイプラインにより県内及び首都圏まで行なっている
- ・国内最大級の天然ガス埋蔵量。石油に比べCO2排出量及び窒素酸化物の少ないク リーンエネルギー。天然ガスを利用したコージェネレーションシステム導入計画

WILL 越路地域整備・活動方針

2 1世紀のクリーンエネルギー

・自然環境に育まれる地場産業の振興・支援

見極める

企業のクリーンエネルギー利用の推進 資源循環型社会を目指した住民・企業・行政が共同で 取組む環境にやさしい実践活動の充実・拡大

実現していくための活動

発信する

自然環境保護活動・クリーンエネルギー導入促進によ る、クリーンなまちのイメージ発信

・天然ガスを活用したクリーンエネルギー産業の 育てる 天然ガス自動車普及などの新エネルギー導入に関わる啓 発・教育活動の推進

企業による地域貢献活動と住民活動の一層の一体化に 向けた啓発と活動の展開

WANT (なりたい姿)

越路地域において

世代がつながる安住都市

未来人を育む資源博物館・新ながおか

を高める方向性・視点



- ・あらゆる人々が尊重される社会の実現に よる人材育成、人間教育の重要性
- ・ノーマライゼーションの更なるチャ レンジング

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

ホタルと自然環境

- 沢すじにホタルの群生地
- ・ホタル群生地を各地域で保護活動
- ・学校ホタル部会の飼育・観察・発表

充実した高齢者・障害者福祉施設

高齢者だけでなく、身体障害者、知的障害者、精神障害者の施設整備が 行なわれている

- ・特養:2箇所、ケアハウス:1箇所、身体障害者入所施設:2箇所、 知的障害者通所施設:2箇所、知的障害者グループホーム:7箇所、 高齢者デイサービス施設:3箇所、精神障害者援護療:1箇所、精神 障害者グループホーム:1箇所など、1つの自治体でグループホーム が8施設あるのは、県内では越路町のみ
- 整備済み生活インフラ
- ・全町ガス、水道、下水道が整備済み **交诵利便性**
- ・長岡中心部への距離的時間的な近さ 中学生海外派遣事業
- ・作文で生徒がユネスコへ招待された

WILL 越路地域整備・活動方針

豊かな自然環境に育まれた 個性尊重による 人づくり地域の形成と発信

・心豊かな子供を育て、すべての人々が支え あう地域の創造と発信

見極める

自然・産業・地域コミュニティが融合した、住みや すさ日本一の地域づくり

実現していくための活動

高齢者・障害者と地域の人々の交流システムづくり

発信する

" ノーマライゼーション先進地域 "としての、自然・ 生活環境、地域福祉活動の発信

育てる

すべての世代が自然と親しむ、グループ活動等の育 国際交流促進による、子どもたちの国際感覚醸成

WANT (なりたい姿)

創出・育成

越路地域において

元気に満ちた米産地 まごころ米の生まれる里・新ながおか

を高める方向性・視点



- ・うまい米づくりに向けて生産技術の 更なるチャレンジング
- ・生産者、消費者ともに元気の出る米 作りの模索

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

こだわりの生産技術

- 有機堆肥による環境保全型土づくり
- ・売れる米を目指してきた地域、高付加価値米の生産地 (スーパーコシヒカリ) 減農薬減化学肥料栽培
- ・新しい栽培技術の先行的な取り組み
- エコノスによるリモートセンシング(衛星を使った食味調査) ・農業技術者の技(人材と努力)
- ・たんぱく質含有量調査によるうまい米づくり
- 単位収量の抑制
- ・適正数量によるおいしい米づくり
- 豊業生産組織の先進性
- ・神谷生産組合、リバーサイド石津、ファームリンクルなどの生産組織企業(化(製 品化まで)
- 地域に合った生産体制
- ・充実した集落営農体制の確立
- 安心を支える環境
- ・豊かな水と自然環境、健康な土づくり

WILL 越路地域整備・活動方針

実現していくための活動

最先端技術と確かな技が生み出す 元気のあふれる米生産・技術導入 拠点の創造

- ・安心、安全、おいしい米生産の追求に向けた新しい 栽培技術導入への挑戦
- ・安心な米生産と環境一体化の模索

見極める

生産者と専門家、行政が連携することによる最先端 栽培技術の開発・導入支援と普及活動の促進 生産者の顔が見える販売体制づくりと、需要安定を 目指した契約栽培体制の確立

発信する

確かな技術と、安全・安心の生産環境の発信 新潟の米を代表する新たなブランドの確立と、米関

育てる

生産組織の法人化促進と、農業従事者の若がえりによ る元気な米づくり地域の創出

WANT (なりたい姿)

越路地域において

世界をつなぐ和らぎ交流都市 人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか

を高める方向性・視点



・他地域との連携活用と情報発信

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

長谷川邸

- ・300年前の茅葺家屋。越後最古の民家。国指定重要文化財(S56) 三波春夫
- ・大正12年生まれの国民的歌手。ヒット曲多数。顕彰碑がある 宝徳山稲荷大社
- ・縄文時代からの歴史を持つ朱塗り大殿堂。年間20万人が参拝。夜祭 大祭(ろうそく祭り)など多数の行事

もみじ園

・明治29年大地主高橋家の別荘として造られた。樹齢150年以上の もみじなどで秋に最高潮を迎える

酒・酒造り

・全国的に有名な銘柄。工場見学

ホタル

- ・沢すじに群生地。ホタル祭り、ホタルファンタジーなどがある。ホタ ルサミットによる交流活動もある 地球の歴史
- ・向斜軸(珍しい地層)と昔マンモスの足跡があり、隠れた資源となっている。 田舎の伝統行事

・各集落のまつり、賽の神、神楽舞

越路地域整備・活動方針

の一翼を担う地域づくり

見極める

実現していくための活動

よる、新たな観光プログラムの創出

自然と歴史の広域交流をつなぐ 地域の形成

・他地域の観光資源との連携化を図り、広域交流

発信する

地域の資源を活用した、歴史探訪プログラムの開 発・発信

観光スポットの魅力度向上にむけたコースづくりに

育てる

地域文化・日本文化を伝える活動や家庭で外国人を 受け入れる活動の推進によるもてなし地域づくり

「新市地域らしさ価値」を高めていくための三島地域の方針と活動

WANT (なりたい姿)

三島地域において

独創企業が生まれ育つ都市 誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか

を高める方向性・視点

・地域に息づく伝統の技を核に地域内 外の人たちのネットワーク拡大によ る伝統地場産業の更なる発展

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

おいしい自然の恵み

酒、みそ・漬物、そうめん

・西山連峰からのおいしい水を使った歴史ある食文化が根づいており、 ファンも多い。酒米の生産も行っており、「酒・米・水」といった地域 のイメージ発信が可能

伝統の技・職人

手引き鋸、杜氏、蔵人、宮大工

・手引き鋸日本三大名産地であり、現在も4人の職人がいる。手引き鋸 の需要は低下しているものの、盆栽用のミニ鋸など新しい分野への取 り組みもあり、工芸品として伝統技術が引き継がれていく可能性を有 している

まちづくり団体の活動

・まちづくり団体などにより、地場産業である農業と酒造業の連携や農家・ 蔵人・消費者のネットワークづくりによる県内初の酒づくりトラスト 活動が行われており、その広がりが期待できる

実現していくための活動

WILL 三島地域整備・活動方針

確かな伝統の技で信頼・支持される モノづくり発信地

・ものづくりへの誠実さ、確かさ、粘り強さを維持・ 発信する地域となる

見極める

まちづくり団体を核とした地域内外ネットワーク づくりによる、地場産物の提供拡大 伝統食品の新技術・高付加価値新商品開発の展開

発信する

酒蔵ネットワークづくりの推進とイベント等開催 による酒づくり地域の PR 展開 地域産業としての食をテーマとした情報発信機能の強化

育てる

鋸鍛冶・杜氏など、伝統の技を次代につなげる人材 受け入れ体制の拡充と、活躍の場づくり 総合学習へのテーマ提供、伝統技術の指導体制づくり による子どもたちに向けた地域産業の魅力づくり

WANT (なりたい姿)

三島地域において

世代がつながる安住都市 未来人を育む資源博物館・新ながおか

を高める方向性・視点

・自然空間と人とのつながりを大切に する風土を生かし、住民主体のコミ ュニティ育成による快適・安心地域 の創出

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

人・地域コミュニティ

人に優しい気質と風土。コミュニティを大切にする住民意識。まちづくり、福祉ボランティア

- 、地域に開かれた学校、ふるさと塾、グレードアッププロジェクト(小学校総合学習事業) ・ボランティアを中心とした地域間交流など、コミュニティ形成が活発であり、子育てママ の集り、いきいき広場など幼児から高齢者にやさしい活動が根づいている
- ・学校も地域に開かれ、世代間交流の拠点となっており、新たなコミュニティ形成の可能性 を有している

教育執心な気質

・旧脇野町小学校は住民の熱意により昭和3年、村予算の3倍の経費をかけて立派な校舎(県 内2番目のRC構造を建設した歴史をもつ。今もこうした教育熱心な地域であり、地域や町 を愛する人が多い

良好な住環境

長岡駅、IC、海へのアクセス性。ゆとりの住宅地。身近な自然空間(里山・田園など)。安 心生活基盤。農村地区の工業団地

・優れた立地条件・地区計画等による良好な環境を備えた、ゆとりの住空間の提供が可能 ・道路が整備され、安心して自然と触れあえる里山・家族で楽しめる公園などもあり、多様な

生活環境の享受が可能。また、学校・病院・福祉施設がコンパクトなエリアに設置されてお り、地区リハビリ等地域コミュニティとあわせ家族の安心を高める地域としての可能性を有 する(上下水道、都市ガスも整備済み)

三島地域整備・活動方針

自然空間を生かし、 地域コミュニティを育む 生涯ゆとり実感都市

・自然と人、人と人とが融合し、地域力を生かし たコミュニティ育成モデル地域となる

実現していくための活動

全ての世代が快適に生活できるゆとりの住環境づくり 地域に開かれた学校を活用し、地域住民による教育

発信する

見極める

住民主体による里山など身近な自然の保全とまちづくりの 手法を活用した、生活の質を高める新たなスタイルの発信 自然空間と地域コミュニティを生かした、「子育 て・福祉最適環境づくり」のモデル化と発信

育てる

世代間・地域間の交流(教育・福祉活動)を促進する コミュニティづくり 住民が主体となったまちづくりが実現できる、人 材・組織育成システムの創出

WANT (なりたい姿)

WILL

地域となる

三島地域において

元気に満ちた米産地 まごころ米の生まれる里・新ながおか

を高める方向性・視点

・大規模圃場や中山間地の天水田とい った多様な農環境をフルに活用し、 新ながおかの農業への試みを実践し ていくことで、高付加価値農産物を 安定供給していく

三島地域整備・活動方針

環境循環型農業の拡大地域

「人と自然」の元気を生かした

・高付加価値な農産物づくりを実践し、新ながお

かの先進的な取り組みを広げ、産業化していく

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

大規模圃場

・大型圃場により、作業効率の向上、コスト低減が可能となる。また、 中山間地の天水田も整備されており、高い品質の米をつくりやすいし くみができている

高い担い手集積率

・県内第3位の集積率(H13)

・10ha 以上の大規模経営農家も 10 人いる(最大 17ha 経営者)

良質米の生産地

・平成8年度から土づくりを推進し、その面積は延べ1,000ha(水田全 体 741ha) となっており、品質の高い米づくりのベースがある

農村生活アドバイザー等

・地産地消を目指す元気な人達が育ちつつある。また、野菜市なども開 設している元気なお母さん達がいる

地元食材の利用

学校給食で地元の野菜・米の利用を進めており、食品産業とあわせ地 地消の実践を進めている

実現していくための活動

見極める

土づくり、栽培技術の開発など、環境重視・循環型 農業の取り組み強化、拡大 高付加価値米の生産・加工・販売システムづくりに よる、中山間地域の活性化

発信する

学校給食をはじめとした地元産食材利用の展開に よる、地産地消の拡大とモデル化

育てる

地域営農体制の強化や生産組織・担い手の育成によ る循環型農業地域づくり

WANT (なりたい姿)

WILL

三島地域において

世界をつなぐ和らぎ交流都市 人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか

を高める方向性・視点

・体を動かし、楽しさ・明るさ・温か さを心で感じてもらう地域個性あふ れるイベントを、新ながおかの交流 資源に発展させ、交流による人材育 成を推進する

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

アイデアと伝統の祭り・イベント

西山連峰登山マラソン大会 (めずらしい過酷な登山マラソン、参加者約500人) 全日本丸太早切り選手権大会 (三島町の特産品を活用した、ユニークなイベント)

- ・地域の環境や特産品を活用したテーマ性の高い新しいかたちのまつり ・イベントを地域住民・ボランティアで開催、盛り上げ継続していく地 域力がある
- 各集落の伝統行事神楽舞、百八灯、賽の神など
- 伝統行事については各集落で伝承されるとともに神楽舞等は新ながお かの各地で連携することで子どもから高齢者の交流、地域外へのアピ ールも可能となる

人・まちづくり団体

三島町ふるさと塾。和創良酒の会。地域福祉会などのボランティア団体 スポーツ・文化団体

・まちづくり活動を住民ベースで行っている『ふるさと塾』では、まち づくりやイベント開催に対応した人のネットワークを有しており、和 創良酒の会をはじめとする交流人材の核となっている。スポーツや文 化を通じた交流が盛んな地域である

実現していくための活動

三島地域整備・活動方針

アイデアと人の和でつくる 新ながおかの独創イベント発信地

・住民力を生かした交流人材育成地域となる

見極める

新市民に憩いを提供する、自然との触れ合い・交流 拠点づくり

まちづくり団体、スポーツ・文化団体の活動を活かした、 自由で新たなイベントをおこす、人材・組織づくり

発信する

新たな独創的イベント等による人と人のネットワ ーク化と地域ファンづくり

育てる

地域内外との交流を促進するための、子どもからの 人材育成と交流の場の創出

「新市地域らしさ価値」を高めていくための山古志地域の方針と活動

WANT (なりたい姿)

山古志地域において

独創企業が生まれ育つ都市 誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか

を高める方向性・視点

- ・固有の技や誠実さの歴史を守り、伝え ていくことで地域住民のこだわりの技 への取り組みを広くアピールする
- ・独創の精神に触れる場として、また、 圧倒的な自然を通して分野にこだわ らない新ながおかの独創企業人の育 成を支援していく

自然美、人間美から生まれる

究極ブランドを守り、育て、

独創企業に提供していく地域

・新ながおかのものづくりに対する"独創性"を 歴史・伝統で裏付け、自然環境を活用し支援す

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

錦鯉生産者 185 世帯、総養殖面積 136ha、止水式溜池養殖(棚池)

- ・錦鯉発祥の地であり200年の実績に裏付けられた固有の伝統産業 ・棚池の景観
- ・こだわりの生産技術で世界的知名度が高い
- ・約 50 世帯が専業であり、棚池とのかかわりからも地域の独創を象徴 する産物といえる

天水田自然乾燥コシヒカリ

約 165ha のうち 30ha が自然乾燥のはざかけ米

- ・天水田 (汚染のない自然水)と 自然乾燥(はざかけで日光に当てると糖度が増す)によりつくられる
- まぼろしのコシヒカリ ・棚田の景観美は国の宝として農地保全の支援を受けている

手掘り中山隧道

- ・村民の不屈の精神が生み出した日本一の手掘り隧道 ・生活・命をかけた業は、多くの人の共感を受けている
- (全国約1,900名の基金支援者)

WILL 山古志地域整備・活動方針

見極める

実現していくための活動 伝統の技に科学技術を付加した究極の山古志ブラン

ドづくり 原産地(錦鯉)で培われた育てる・見極める技術の継承 と産業化への活用

発信する

山古志ブランドの多様なジャンル(写真・音楽・・・)でのプ ロモーション展開 自然・人間がつくってきた独創地域のものがたりづくり

と、全国への発信

育てる

自然体験を活用した、企業人育成プログラムの開発

WANT (なりたい姿)

山古志地域において

世代がつながる安住都市 未来人を育む資源博物館・新ながおか

を高める方向性・視点

・自然と融合した生活、伝統を守り、 未来人に伝えていく

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

特徴ある自然景観・棚田

- 耕作地100パーセント棚田 ・村内全域が棚田という他地域にない特徴ある生活・自然景観
- ・景観美の知名度は高く、文化庁による農村の文化的景観重要地域の指 定を受けている
- ・日本景観学会現地研修会会場にもなっており、学術的にも評価が高い ・1 軒 1 水源という固有の水とのかかわりを持つ
- 都会では見られない生き物たち

・棚田・棚池では、クロメダカ・タガメ・ゲンゴロウなどが生きる 固有の生活行事

・牛の角突き、賽の神など、住民が熱くなる感動がある

WILL 山古志地域整備・活動方針

実現していくための活動

未来人を育む 地域全体フィールドミュージアム の創出

・生活から生まれた圧倒的な自然と燃え上がる体験 を通して、未来人の感性を育む地域

見極める

フィールドミュージアムを構成する資源、歴史、伝 統を守り育てていく活動の促進

発信する

固有の景観や生活行事を守りつづけるネットワーク づくりと発信

育てる

未来人の心を育てる、大人たちを含めた自然体験学 習プログラムの開発

WANT (なりたい姿)

る地域となる

山古志地域において

元気に満ちた米産地 まごころ米の生まれる里・新ながおか

を高める方向性・視点

- ・耕作地 100 パーセントの棚田・棚池 を保全し、こだわりの食を発信する
- ・地域を訪れた人が享受できる仕組み づくり
- ・体験型の米産地としての地域づくり を進める

自然にいだかれた技と

安心安全食の体験地域

(来て、見て、食べて)

人の汗が創り出す、

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

天水田自然乾燥コシヒカリ

- 約 165ha のうち 30ha が自然乾燥のはざかけ米
- ・天水田(汚染のない自然水)と自然乾燥(はざかけで日光に当てると 糖度が増す)よりつくられるまぼろしのコシヒカリ
- ・棚田の景観美は国の宝として農地保全の支援受けている かぐら南ばん
- 形はピーマンで食すると辛い
- ・山古志村の土質、気候が生み出す独特の辛味がある 生産高が急成長
- ・加工品への需要も高い

WILL 山古志地域整備・活動方

山古志"食"ブランドの確立によるファンの獲得と、 棚田保全への展開(オーナー制度、特区制度など)

実現していくための活動

発信する

見極める

棚田・はざかけ等、農山村の原風景保全と PR 展開 雪中貯蔵技術の活用による、新たな魅力食の提供

・伝統の食づくりを守り続け、人々に感動を与え る地域イメージ発信地となる

育てる

農業体験プログラム開発と地域体制づくり

WANT (なりたい姿)

山古志地域において

世界をつなぐ和らぎ交流都市

を高める方向性・視点

- ・地域の環境・伝統を守りつづけ、共 感を持つリピーターの裾野を広げて
- ・オフシーズンも含めた地域住民との おだやかな交流を展開する

何度でも来たくなる

文化、伝統を伝える地域となる

資源の強み・内容

体験交流

- ・県内大学留学生の山村生活体験や小学生の雪中キャンプが行われる
- ・全国的に活動する酒飲み会への場の提供を行っている
- 錦鯉による交流 ・県内での稚魚の放流(子ども)
- ・品評会の来訪者(リピーター)

CAN (活用したい地域資源)

牛の角突き

- ・1000年の歴史を持つ住民による生活の中で生まれた行事
- ・牛の角突きは国指定重要無形民俗文化財に指定されている
- ・棚田は文化庁指定農村の文化的景観重要地域 村の人々

・豪雪地で住み続ける粘り強く、素朴な人々

WILL 山古志地域整備・活動方

こころ "和らぐ資源特別区

・都会の生活では触れることのできない原風景や

見極める

様々な地域資源が一体となった山村文化のブランド化 様々な分野の交流による新たな交流資源の発掘活動

実現していくための活動

発信する

山村・雪国生活の多角的な発信

人材・情報ネットワーク活用により、地域の人たち が地域資源の価値について理解を深め、来訪者に提 供する「もてなしのこころ」の育成

育てる

「新市地域らしさ価値」を高めていくための小国地域の方針と活動

WANT (なりたい姿)

小国地域において

独創企業が生まれ育つ都市 誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか

を高める方向性・視点

・独自技術へのこだわりが新たな価値 を産み、新たな事業(商品)へと展 開していくことを具現化すること で、独創企業が生育可能な地域であ ることを内外にPRする

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

小国和紙

300年以上の歴史を持ち、その製造工程が無形文化財の記録選択に指 定されており、小国和紙生産組合が伝統技術を守っている

- ・希少性・高品質を活かした商品への展開 あたたかみのあるランプシェードなどの和紙製品の他、日本酒の
- ラベルや書道、版画用紙などが生産されている ・伝統技術を学ぶために学生や職人希望者が研修に来ており、独自技術 の発信が行われている

雪を巧みに利用した製法で、使えば使うほど白くなる

小国ログ

- ログハウスを中心としたベンチなどログ製品の設計、製造、販売で好評 を得ている
- ・曲線を用いたカッティング方法と気密性の高い加工技術によるやわら かみのある製品
- ・優れた加工技術による間伐材の有効活用

WILL 小国地域整備・活動方針

伝統技術の継承と独自技術を 活かしたこだわりの里づくり

・小国和紙等の伝統技術や独自技術の継承および 発信により、後世に残るものを生み出す技術へ のこだわりに誇りを持ち、高付加価値化を実現 する

大学・研究機関との連携による、小国和紙の研究と 新たな製品化への取り組み

小国和紙・ログの新たな販路開拓

実現していくための活動

発信する

見極める

小国和紙・ログなど、地球にやさしい技術のシンポ ジウムやサミットの開催

伝統技術を活用した、ものづくりに関わる一連の体 験・教育プログラムづくり

育てる

伝統技術を継承するための人材受け入れ体制の強化 環境優先型社会を伝える、指導者の養成

WANT (なりたい姿)

小国地域において

元気に満ちた米産地 まごころ米の生まれる里・新ながおか

を高める方向性・視点

・グリーンツーリズムなどの活動を利 用しながら、農業体験だけでなく、 「現地で体感するおいしくて特徴あ る食」を提供することにより、地域 の魅力向上および活性化へ寄与する

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

八石米

盆地と渋海川から生まれた良食味米

効果の活用など新たな展開を模索中

・小国でのコシヒカリづくりの土専用の有機肥料を使った減減栽培によ るおいしい米づくり

八石なす

皮のやわらかい特徴を持つ丸ナス

- ・歯ざわり感が良く、郷愁を誘う味と評判で、安全安心でおいしい漬物 ・町内で生産 - 加工 - 販売
- 雪国ぎんなん 昔から町内で生産されてきた3種類の大型種を町内に広め団地化
- ・独自ブランド製品の製造販売の他、表皮の肥料としての利用や、防虫

グリーンリース圃場

県事業で整備した以外にも独自に実施している集落もある

・生産者の顔が見える安心の食の提供や、農業体験による"新たな発見"

₩||_| 小国地域整備・活動方針

安全で味にこだわる

食の里づくり

・おいしくて特徴のある食の生産・発信地として の発展

土づくりからはじめる安心安全なこだわり食材 (米・なす・ぎんなんなど)の生産と製品開発の促進 体験型農業の推進による農村生活理解活動の推進

実現していくための活動

発信する

見極める

安全な食材のつくり方から食べ方までを発信する トータル食学校"の創設 こだわりの食を体験できる「小国御膳」の開発と、 もてなし体制づくり

育てる

安全な食を販売する人材の育成 ぎんなん生産量日本一への取り組み

WANT (なりたい姿)

小国地域において

世代がつながる安住都市 未来人を育む資源博物館・新ながおか

を高める方向性・視点

- ・集落単位の顔の見えるコミュニティ での地域づくりを通じて世代間交流 を活性化し、日常生活の中で自らが 考え行動する未来人を育むために貢 献することを示す。
- ・子供から老人まで、健常者から障害 者まで、ともに役割を持ち、元気で 支えあう地域づくり

WILL 小国地域整備・活動方針

CAN (活用したい地域資源)

資源の強み・内容

地域づくりコミュニティ

集落活動計画と一集落一事業

- ・各世代(こども~お年寄り)が集落の良い点悪い点を話し合って計画 づくりを行う(行政もサポート)
- ・住民自らが生活環境づくりを行う
- ・集落が1つの活動単位となっている

福祉コミュニティ

多様なボランティア活動

- ・地域の中で、支える人支えられる人が、ともに生きがいを持てる活動 生き生きサロン(19地区)
- 福祉ボランティア登録者 (実数 350 名延 530 名) 学校支援ボランティア (39名)
- 生涯学習活動人材バンク(40名)

食生活改善推進委員

- ・食を通した健康づくり
- ・食の伝統文化を次世代に教え伝える活動

予防医療の推進

・健康に対する意識改革により検診受診率の向上やウォーキングなどの

しぶみ工房

・3 障害者(身体、知的、精神)がともに働ける通所授産施設

実現していくための活動

元気で支えあう気持ちを育み 全ての人にやさしい里づくり

・日常的な支えあいや世代間交流を通じて、生活 の中で自らが考え行動する未来人を育む

見極める

集落活動の連携による防犯体制の一層の充実 21 世紀の新しい食をテーマとした健康づくりの実

発信する

"健康イベント"開催による、地域の魅力をアピー 農村の良さを伝える広報・情報発信の強化

育てる

高齢者の経験・知識を地域コミュニティで発掘・継 承する健康な里づくり 地域ボランティアの組織づくりと活動支援による リーダー(予防医療等生活専門員)の養成

WANT (なりたい姿)

小国地域において

世界をつなぐ和らぎ交流都市 人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか

を高める方向性・視点

・へんなかツーリズム事業は、各所の 魅力を連携させて魅力の向上と創造 を図る体験型交流への取り組みを実 践するものであり、新市で取り組む 地域内連携のモデルとして期待され る

₩||_| 小国地域整備・活動方針

もてなしの里づくり

へんなかツーリズムによる

・地域でもてなす体験型交流の創造と展開の実現

資源の強み・内容

都市との交流

- 武蔵野市と友好市町村共同のアンテナショップ
- ・友好都市の武蔵野市とは通年で交流
- 武蔵野市民の愛蔵書を預かる小国町愛蔵書センター取り組み 新潟大学の支援
- ・地域をあげての取り組み、学生との交流も行われている

CAN (活用したい地域資源)

- 町をあげてもてなす、へんなかツーリズム事業歴史ロマンの隠れ里まつり
- ・町民ボランティア500名、歴史愛好家など全国から集まる
- 四季を通したまつり
- ・雪上エンデューロ大会、巫女爺踊り 緑豊な自然

***基準は日本・ ・越後おぐに森林公園、自然の家やまびこ、小国芸術村等恵まれた自然の中で長期 滞在が可能な体験施設がある

- 多様な交流施設 なじょらい市
- 農村生活アドバイザー 等
- ・地産地消をめざす元気なお母さん達が育ちつつある
- グリーンツーリズム推進協議会
- ・有志の研究会による民泊試行が開始
- ・へんなかツーリズム事業のもと、町中の取り組みの窓口を一本化し、連携させる試みが はじまっている

実現していくための活動

見極める

純農村型文化の発掘と継承 長期滞在型交流環境づくり

発信する

農村交流モニターの全国募集と情報発信 大学との研究交流による農村文化学習フィールドと しての地域イメージづくり

育てる

地域における"もてなし"の意識確立と体制づくり

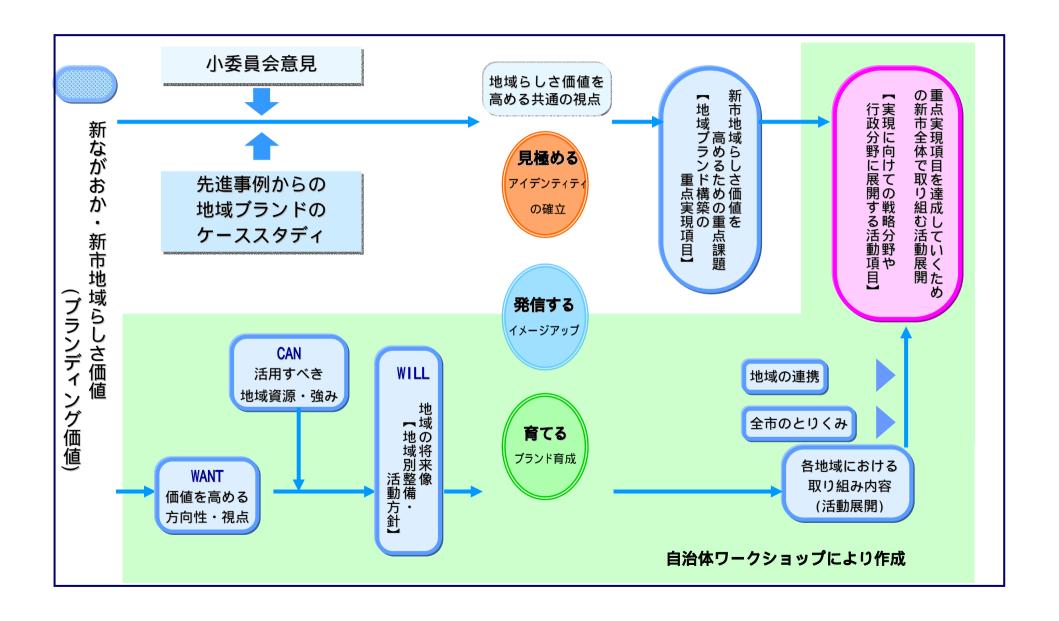
本を活用した新たな都市と農村の文化交流推進

新市地域らしさ価値の構築に向けた重点実現項目と 新市全体で取り組む活動展開 (案)

2003年8月26日

長岡地域任意合併協議会事務局

新市地域らしさ価値構築に向けた考え方(流れ)



新市地域らしさ価値 その1:**独創企業が生まれ育つ都市** ~誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか~

新市地域らしさ価値を 高める視点

重点実現項目

新市全体で取り組む活動展開

見極める

アイデンティティの 確立・一貫性

新ながおかが誇る技と人を ネットワークする匠の国を創り上げる

~ 地域が誇る産業と技を核として

地域と人とを連携する~

新技術・高付加価値新製品の開発を生む、

地域の大学や研究機関との世界に誇る産学官協働ネットワークの構築

(例:企業と地域が一体化した長岡型ネットワーク)

ネットワーク強化等の流通革命、交通拠点創造の推進

(例:新技術による長岡版流通構造の改革~情報技術、物流技術、金融技術の高度な融合を図る)

発信する

情報発信力強化・機会の 多様化

新しいビジネスモデルで made in NAGAOKA の魅力を世界に発信する

~社会を常にリードする

価値創造型製造業の育成と振興~

国境のない社会に対応した製品価値を伝えるプロモーション活動の推進

(例: 先端技術による情報発信)

海外からの技術者も快適に過ごせる情報・交流・滞在環境の整備と発信

(例:国際ネットワークホテルを活用した情報交流機会の拡大や複合都市機能の再構築)

地域に伝わる伝統技術と地場産業の連携による新たな需要を掘りおこす

高付加価値商品の創出と、競争力のある新ながおかプランドの商品開発と発信

(例:織物技術による耐火新素材開発等)

長岡地域を代表する既往産業のリソース (技術資源)を活用した、

全国・首都圏に競争力あるコア産業としての再構築を図るための拠点づくり

(例:デザインシンクタンク機能の強化)

育てる

人材育成・ブランド育成

市民チャレンジャーの成功と 雇用を支える新たな起業促進の風をおこす

~起業やベンチャー企業育成を

支援するやシステムの整備・充実~

未来のエジソンを生む

人材教育・人材育成の推進

~産業革新に貢献する人材育成を

目指した教育と社会支援の実施~

世界の大学や企業とも連携した新産業やビジネスモデル(新たな市場づくり)の開発促進

(例:eコマース、eコミュニケーション、eマーケティングのコンサルティング環境の育成)

新たな雇用を創出する創業環境の整備・促進

(例:大学の研究成果を企業に移転する機関、システムの整備充実)

国内外の大学との交流や留学生の受け入れ環境の整備・推進

(例:インターンシップ制度等の活用と促進)

産業界が求める人材像(創造力、異文化理解、語学力)に即した高度教育の推進

(例:理数系、語学、経営技術に特化した中高一貫校の創設、学生の海外留学支援)

産業界の人材が義務教育から生涯教育に参加し、地域の人材を磨く仕組みづくり

(例:金融ゲーム体験等の人材参加によるコミュニティスクールや起業人教育の実施)

新市地域らしさ価値 その2:**元気に満ちた米産地** ~まごころ米の生まれる里・新ながおか~

新市地域らしさ価値を 高める視点

重点実現項目

新市全体で取り組む活動展開

見極める

アイデンティティの 確立・一貫性

「新ながおか元気印プランド」の 創造による「食の付加価値」の確立

~地域農産物や酒、農産加工品、郷土料理を 組み合わせた新ながおかメニューの開発~ 長岡地域の米をはじめとする農産物・農産加工品のブランド開発

「人を健康で元気にする」新ながおかブランドの価値の明確化

土づくりに代表される農産物に重要な安心感を大切にしたブランド育成と地産地消の促進

(例:減農薬減化学肥料栽培の全市への拡大、遺伝子保存施設との連携システムづくり)

発信する

情報発信力強化・機会の 多様化 おいしさと安全・健康をキーワードとする 「新ながおか料理」の発信

~おいしさに加え、健康増進、安全・安心等の 生活価値観に即したブランドを開発し、 全国に向けて強く発信することによって 日本の食卓を変える~ 生産者の「心と顔」が見えるITを活用した販売手法の確立

(例:ICタグの活用による生産履歴表示活動標準化と在庫管理・販売促進への展開)

「新ながおか名物セット」の開発や外食産業等とタイアップした普及促進 美しい農村地域の実現と地域の特産品や伝統の技を活用した究極の食開発

(例:はざかけ米+おいしい水+酒蔵=究極の酒)

育てる

人材育成・ブランド育成

蛍が舞い、人の豊かな営みが展開する 「食」「農」のユートピアを生み出す

~信濃川をはじめとする豊かな水や土壌を守り、 その恵みによる米作りや新しい。(食)のあり方を 提案する「スローフード(風土)」の振興~

高付加価値型農産加工業の育成支援

(例:大学と連携したバイオテクノロジーの研究・活用)

農業体験と観光産業の連携により地域内外で地産地消を促進

(例:新ながおかフードファンクラブの展開)

次の世代につなげる魅力ある農業を担う人材の育成と確保 農業プランドをリードする地域の人材ネットワークや活動の支援 地産地消や地域文化、「技」を継承し、発展させていくための活動の推進

(例:食・農フォーラムやイベントの全国展開)

農村文化の継承や農村の活性化

(例:農村体験を通じた地域コミュニティの連携)

環境に配慮した地域循環型の生産・消費生活を推進するための技術交流と普及活動

(例:水質保全の徹底、ごみ発電導入によるリサイクル推進、生ごみ・堆肥循環システム)

新市地域らしさ価値 その3:世代がつながる安住都市 ~ 未来人を育む資源博物館・新ながおか~

新市地域らしさ価値を 高める視点

重点実現項目

新市全体で取り組む活動展開

見極める

アイデンティティの 確立・一貫性

「生きる楽しみ」「育つ喜び」が 実感できる生活環境の創出

~すべての世代が住みたくなる住環境の実現~

自然の力、人の心などを活用した新たな予防医療の充実

(例:自然環境を生かした触れて癒すタッチセラピーの研究、市民カウンセラーの育成)

住宅地の緑や自然環境の保護によるゆとりある住環境の奨励と支援

地域の豊かな暮らしを視点とした住民満足度や達成度の評価ができるシステム整備

(例:市民側からの行政評価システムの導入)

多様なライフスタイルを可能にし、人生を豊かにする暮らしづくり

環境と共生する「ごみゼロ」社会の創出や新エネルギー活用

(例:自然に戻る素材の利用促進、新エネルギーによるヒートアイランド対策)

コミュニティや人のネットワークを生かした。

自然環境保全、子育て支援、人材育成のシステムづくり

人々の生活を守る交通の安全性・快適性を追求したまちづくり

(例:夏の道を冷やすクールロードによる快適空間の創出等、身近なみちの快適性追及の活動)

発信する

情報発信力強化・機会の 多様化 「元気に老いる」熱年力を活かした まちづくりの推進

~身体の健康だけでなく、精神的な活力を 活かす場を創り、すべての世代が元気なまち~

地球を想う「未来人」育成・発信地域の創出

~子どもの力・自立した活動を 地域全体で伸ばし、発信する地域づくり~ すべての世代が活発に交流するコミュニティや施設、まちづくりの推進 民間資本やNPO、ボランティアを活用した福祉拡充

(例:オープン型福祉施設の展開)

高齢者の持っている経験豊かな知恵を生かせる場の創出

(例: 多様な分野のシルバーインストラクター登録と活用の機会づくり)

子どもたちの才能を早期に見出し、地域で伸ばす仕組みづくり

(例:全ての幼児・子どもの興味を見つける教育システム開発)

子どもの豊かな発想を社会に反映させるシステムの全国展開

(例:全国子供会議開催や「未来の地球人ながおか賞」など子ども顕章制度)

育てる

人材育成・ブランド育成

「子育で・教育」の分野で日本の モデル地域となる「21世紀の 米百俵プログラム」の開発・推進

~子どもたちの「豊かな才能」を発見し、

みんなで育てるまちづくり~

出産・育児・教育に最適な環境をつくる

(例:0歳児保育の充実・待機児童ゼロ・新教育システム開発など)

地域住民による歴史・自然・伝統文化を活かした地域学校教育のプログラム開発と実践

医療・福祉・育児・家事支援サービスを提供する生活関連産業の重点育成

(例:NPO等による生活便利ネットワークへの支援とシステム化)

日本一の通学(楽)環境の整備

(例:学校が楽しくなる芸術作品の通学路への展示や安全安心の創意工夫)

新市地域らしさ価値 その4:世界をつなぐ和らぎ交流都市 ~「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか~

新市地域らしさ価値を 高める視点

重点実現項目

新市全体で取り組む活動展開

見極める

アイデンティティの 確立・一貫性

地域資源を活用した新ながおか *コンベンション・シティの創設

~地域資源・特性を活用した

地域内外の交流機会の創設~

*「コンベンション・シティ」 = 種々の会議やイベントを開催する 環境を備え、それらの開催をもって地域発展の基礎としてる都市

新ながおか交流革命(30万人の先進的な都市機能エリアの創出)

(例:世界直結の交通ネットワーク化と国際コンベンション・スポーツフィールドづくり)

憩いの場として多彩な交流が生まれる、水辺空間の創造

(例: 舟運の復活と新たな水辺拠点づくり)

ながおかの地域コミュニティ・世界との交流によるまちづくりで、

広く、豊かに人が育つ環境づくり

(例:海外ボランティア活動への参加支援)

地域資源(歴史・まつり、人、特産品)を提供する、

遊び・楽しみを連動した観光ネットワーク開発

(例:地域神楽舞共演、新ながおか歴史ミュージカルの創作・公演)

発信する

情報発信力強化・機会の 多様化

すべての市民が「新ながおか親善大使」

~ 地域の伝統文化、魅力をテーマ としたイベントの開発と実施~

「酒」「花火」「食」「雪」サミットなどで「新ながおか」の魅力を発信

利雪・親雪で豪雪地帯を観光資源として発信

(例:新しい雪観光等のホワイトツーリズム開発)

各地の特色あるまつりやイベントの掘り起こしと連携による独創的なイベント・祭りの開発

(例:新ながおか花火旬間の設定)

育てる

人材育成・ブランド育成

「暮らしたい」「働きたい」「遊びたい」 ・・・魅力あるまちを目指す

~ すべての市民が「新ながおか」に

誇りを持てる都市の実現~

各地域の自然・伝統・文化を連携した新たな観光メニューの創出

(例:風景と音楽、自然と演劇等を組み合わせた芸術祭開催)

訪れたい地域になるための地域が一体となった魅力度向上

(例:300年後の世界遺産を目指した取り組み)

全市民が地域魅力への認識を高める交流人材、もてなし体制の創出

(例:新ながおか交流マイスター制度、地域資源キーパーソンの発掘)